

地域おこし協力隊だより Vol.11

こっちゃんのチャレンジな話



僕は広く浅く多趣味な性格で、読書や映画みたいなインドアも、屋外で身体を動かすことも大好きです。以前は登山やスキー、乗馬、犬ぞりやパラグライダーにもチャレンジしてみたり。趣味が高じて北海道で川下りや熱気球、スノーモービルなどのガイドを仕事にしたことも。どれも楽しくて貴重な体験で、一度だけの体験でさえも、今の自分にとっての財産になっています。

自然の魅力もいっぱい松浦市にも、こういった何か貴重な体験が出来るステージやフィールドがあったなら、また松浦市の新しい魅力が増えるのかな、なんてことを考えたりしています。経験や体験は多ければ多いほど良い！

2018年、みなさんはどんなことにチャレンジされますか？



小高 秀二 (こだか・しゅうじ)

東京都出身。歴史と旅が好きすぎて、全都道府県を歩きまわり、ご縁を得て昨年10月から松浦市に協力隊として移住。趣味は、楽しいことなら何でも！

終戦直後より栄養飢餓！？ 働く女性の食生活問題。



福岡で暮らしていた頃、食事は1日1回か2回。成果主義の仕事だったのでガムシャラに働き、若さにかまけて自分の体はそっこのけでした。松浦市に移住して一番変わったのは、食生活。1日3回新鮮な野菜や魚たっぷりのご飯を食べようになりました。摂取カロリーは大きく増えたけれど体重は増えない…。なんでかなあ？と不思議に思っていると、テレビから流れるニュースを見て納得。

いま、働く女性の摂取エネルギーは終戦直後よりも栄養飢餓状態にあるんだそうです。その影響は赤ちゃんに及び、低出生体重児の割合が年々増え続けているんだとか。「食べたもので体はできている」と言われます。誰のものでもない自分の人生、都会で頑張る女性にも自分の体をいたわって過ごしてほしいなあと思います。過去の自分にも、伝えたいです！w



宮田 友香 (みやだ・ゆか)

福岡市で13年広告制作プロダクション勤務。一昨年10月、松浦市に協力隊として移住。市の魅力発信を担当。(旧姓・中村)

松高だより

■なるには講座

12月7日に職業について理解を深める「なるには講座」を行いました。松浦市商工振興課と松浦市工業会の協力で地元企業6社にお越しいただき、働くことの意義・楽しさ・やりがい・難しさなどについて講話をいただきました。

生徒達は進路意識を高めるとともに、地元企業への理解を深めました。



■大学入試センター試験

国公立大学などに向けた大学入試センター試験が1月13日・14日に行われました。

受験者達は松浦駅で後輩達に見送られて試験会場に出発し、これまでの学習の成果を発揮しました。センター試験後も、二次試験に向けた頑張りが続きます。



